

B級指導者養成講習会レポート

報告者：田中 和喜

- 期間 ・第5コース（東海） ・前期：2017年6月19日（月）～24日（土）
・後期：2017年10月16日（月）～21日（土）

■場所 ・御殿場時之栖・ブルーベリーロッジ

- インストラクター ・濱崎 芳己 氏（JFAインストラクター）
・池内 豊 氏（JFAインストラクター）

■B級指導者養成講習会内容

前期

- 1日目・・・GK（講義）・GK（実技）・ゲーム（8対8）・コミュニケーションスキル（講義）
- 2日目・・・指導実践・コーチング法①プランニング
- 3日目・・・プレーの原則（講義）・ポゼッション（実技）・プレーの分析（講義）・守備①（実技）
コーチング法②コーチング（講義）
- 4日目・・・技術/戦術的課題（講義）・前線の崩し（実技）・暴力根絶/ディスカッション（講義）
フィニッシュ（実技）・コーチの役割（講義）
- 5日目・・・指導実践・指導実践振り返り
- 6日目・・・筆記試験

後期

- 1日目・・・守備②（実技）・ビルドアップ（実技）指導実践ガイダンス
- 2日目・・・フィジカル（講義）・フィジカル（実技）クロスの攻撃（実技）・クロス守備（実技）
審判（講義）
- 3日目・・・指導実践・口頭試験
- 4日目・・・プランニングのフィードバック（講義）・コースでの課題（講義）・セットプレー
（講義）・セットプレー（実技）・ゲーム（11対11）・口頭試験
- 5日目・・・指導実践
- 6日目・・・筆記試験

・共通科目として、「スポーツ医学」・「スポーツ心理学」・「スポーツ社会学」・「トレーニング科学」の4分野について、計13のレポート課題提出（e-ランニング）
・前期から後期への課題として、「2017指導指針レポート U-14/u-16」・「暴力根絶レポート」の3つの課題提出がありました。

■感想

上記期間にて、JFA公認B級コーチ養成講習会を受講してきました。前期・後期を通して強く感じたことは、私たち指導者は選手達の未来に触れているということです。だからこそ、自分の考え方に固執するのではなく、オープンマインドで世界のサッカーの動向に目

を向け、また日本のストロングポイントを理解していく中で世界基準に足りないものは何かを理解し、正しい知識を身に着け、アウトプットしていくことが大切なのだと感じました。

指導実践ではこれまでの自分の指導を振り返り改善できる良い機会となりました。プレーの中で起こった子供たちのエラーを、単に指摘し指示するのではなく、どうしてそうなったのかを発問し、考えさせ、答えを導き出すことの重要性を学ぶことができました。

私は自チームで U-12～U15 を担当しています。今後も、日本が世界で戦っていく為に必要な要素を理解し、常に日常を世界基準で考え、各カテゴリーに合わせた指導を心掛け、目の前の選手達に落とし込んでいきたいと思えます。